

2021 年 6 月 11 日

東急不動産株式会社

発展が続く「南草津」駅前でニューノーマル対応の大規模分譲マンション

「ブランズシティ南草津」を開発

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）は在宅ワークなど新型コロナウイルス流行に影響を受けたニューノーマルな生活（社会全体の新しい仕組みと人々の新しい生活）に対応した都市近郊型の分譲マンション「ブランズシティ南草津」（所在地：滋賀県草津市南草津）を開発することになりましたのでお知らせいたします。

当物件は 7 月より販売開始予定で、マンションギャラリーは 6 月 12 日にオープンいたします。この物件では、テレワーク用の施設を共用部と専有部（セレクトプラン）に設ける、非接触で自宅前まで行けるような住宅設備を用意する、子育て世代も安心して子育てできるよう清掃性が高く安心なキッズルームを設置する、など様々な工夫を取り入れました。



物件外観（完成予想図）

■ 注目される関西圏の都市近郊の街「南草津」

ブランズシティ南草津は新快速の停車駅である JR「南草津」駅から徒歩 2 分、区画整理事業によって美しい街並みが形成された駅前・西側ゾーンに建設を進めています。物件の立地する草津市は大阪、京都、滋賀に通勤圏のベッドタウンとして注目を集めており、南草津駅を含む草津市の人口は 13 万 6254 人（今年 3 月）で、2016 年 3 月と比較して約 6,000 人増えるなど、全国の自治体でも数少ない人口増加が続く市です。東洋経済が調べた「住みよさランキング 2020 年版」によると、草津市は住みよさで 8 年連続滋賀県内 1 位となっています。





※出典:国立社会保障・人口問題研究所「全都道府県・市区町村別の男女・年齢(5歳)階級別の推計結果(一覧表)2015年」※2015年は国勢調査による数値

最寄り駅の JR 南草津駅は1日の乗降客数が約 61,000 人と滋賀県内の駅で最多です。県庁所在地の大津駅 (34,000 人) を大きく上回る水準です。また、今年 3 月の西日本旅客鉄道 (JR 西日本) のダイヤ改正で京都・滋賀と関西国際空港とを結ぶ特急「はるか」が停車するようになるなど、鉄道の利便性も向上しています。

駅前には生活利便施設が点在しているほか、周辺には立命館大学びわこ・くさつキャンパスや滋賀医科大学、京都大学生態学研究センターなどがあり、若年層の昼間人口の多さから街の将来性に期待が集まっています。また、コロナ禍以降、自然豊かな暮らしやすい街として若い世代を中心に注目度がますます高まっています。

■ アフターコロナを見据えたニューノーマルな生活に対応する様々な施設

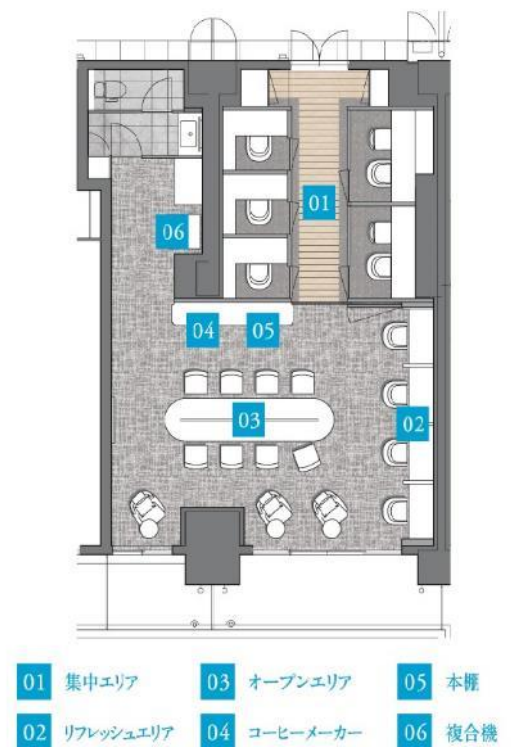
当物件ではファミリー層を中心に幅広いライフスタイルに対応できるよう、面積 60~90 m² 台の 2~4LDK のプランを合計 17 タイプ用意しております。コロナ禍で在宅勤務をする人が増えていることに対応し、共用部にはコワーキングスペースを用意しました。

■ 様々な用途に対応したコワーキングスペース

コワーキングスペースは個室で集中して仕事に取り組める「集中エリア」や開放感のある場所での作業に適した「オープンエリア」、そしてリラックスしながら読書なども楽しめる「リフレッシュエリア」といった場面ごとに使い分けられる作業スペースを用意しました。コピーやスキャンができる複合機や、お仕事中にも一息つけるようコーヒーマーカーなども用意しております。



コワーキングスペース (完成予想図)



■ワークスペースを設けたセレクトプラン（専有部）

小さな子育て中のご家族や、お二人以上が在宅でお仕事をされる場合にも対応できるよう、専有部ではワークスペースを設けるセレクトプランを設定しました。※セレクトプランの申し込みには期限があります。



（モデルルーム撮影 デスクスペース）

■東急ハンズ監修によるパーティールームで親子参加型イベントを実施（予定）



パーティールーム（完成予想図）

コロナ禍では在宅時間が増えたこともあり、家族の絆を感じたり、家族で過ごす時間を充実したりすることが求められています。また、家族以外の人と関わる時間が全体的に減ったことで、かえっていろいろな人と交流できる時間を大切にする風潮が高まってきました。

当物件ではグループの東急ハンズとコラボしたパーティールームを用意。親子参加型のイベントも実施を予定するなど、家族とも様々な人とも交流を深める時間を持てるようにします。



■奥行約 2.3 メートルのバルコニー（一部住居）

一部の住居には奥行約 2.3 メートルという幅の広いバルコニーを用意します。感染対策で外出する機会が減ってしまった小さなお子様が、屋外でリフレッシュできるようにします。

大人もこのバルコニーから外を眺めたり、しばらく椅子に腰かけたりして過ごすことで、太陽の光や風を身近に感じられ、「ステイホーム」をしている時も気軽に気分転換をすることができます。



奥行約 2.3 メートルと広いバルコニー（モデルルーム撮影）

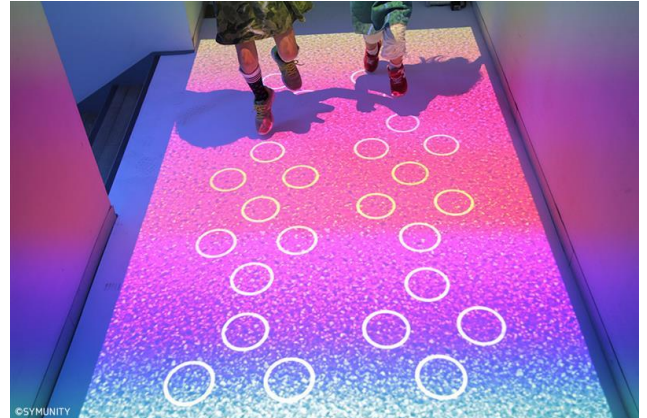


■デジタル技術を活用した清掃性の高いキッズスペース

新型コロナウイルスの感染防止のため、できるだけ接触を避けるニーズが増えていること、また、子育て期のご家庭も安心してお過ごしいただけるよう、キッズスペースには高い清掃性を誇る、バーチャル動画が床に投影されるインタラクティブ床を設置するなど、出来るだけ遊具などへの接触の機会を減らすようにいたします。



キッズスペース（完成予想図）



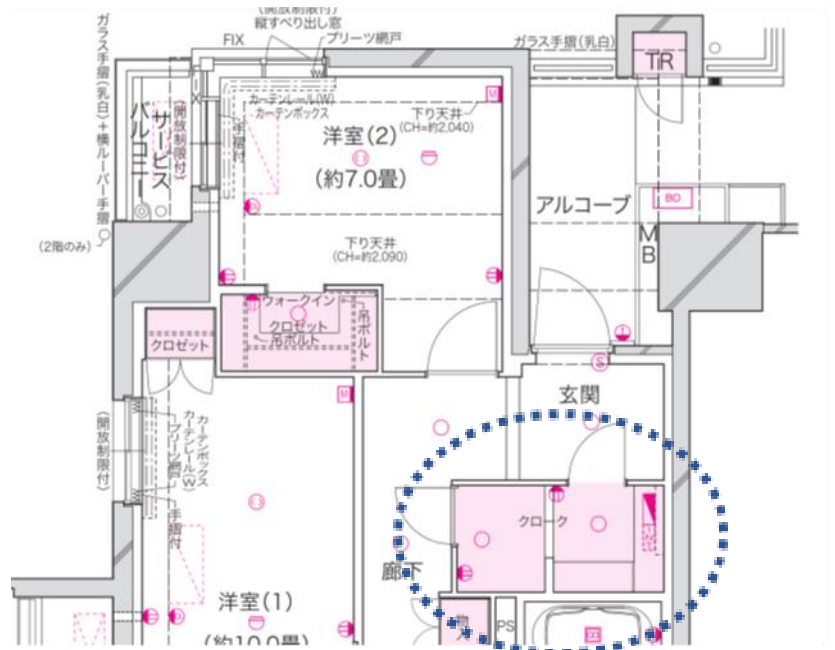
インタラクティブ床イメージ図

■リビングを通らずにすぐ着替えられるクローク

外から帰った時、リビングに行く前に上着をしまったり、アウトドア用品やお子様の部活道具など外で使ったものを部屋に持ち込まずに保管出来たりと何かと重宝するクロークを玄関脇に取り入れたセレクトプランもご用意しました。※セレクトプランの申し込みには期限があります。



クローク（モデルルーム撮影）



クロークを玄関脇に設けたセレクトプランの案



■非接触操作のエレベーター

非接触で操作できるエレベーターや、ドアに触れずに開けられる電子キー（オプション）なども用意し、自宅まで住宅設備に触らず行き来できるようにしました。当社では今後も新しい生活様式や価値観など、時代の流れに合わせたマンション開発を進めて参ります。



■ 長期ビジョンで取り組むテーマと、貢献する SDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2021年「長期ビジョン 2030」において「WE ARE GREEN」をスローガンに、価値を創造し続ける企業グループを目指し、グループの強みを活かして、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来をつくることを宣言しました。その実現のために、6つの取り組みテーマ（マテリアリティ）を定め、それに基づく4つの重点戦略を掲げています。これらの取り組みは、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献すると考えます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）及びSDGsは以下の通りです。

《本リリースにおける取り組みテーマ(マテリアリティ)》



《貢献する SDGs》



東急不動産ホールディングスグループ「長期ビジョン 2030」について

■ tfhd_groupvision2030.pdf (tokyu-fudosan-hd.co.jp)



■ ブランズシティ南草津概要



建物外観（完成予想図）

所在地	滋賀県草津市南草津二丁目 2 番 1（地番）
交通	JR 琵琶湖線「南草津」駅徒歩 2 分
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上 14 階建
敷地面積	3752.99 m ²
総戸数/販売戸数	217 戸、店舗 2 区画/209 戸
売主	東急不動産株式会社
建物管理	株式会社東急コミュニティー

【物件地図】

